



京都大学

設置期間 2019年4月1日～2023年6月30日

寄附者 八千代エンジニアリング株式会社


 八千代エンジニアリング株式会社

「我が国のインフラ設計・マネジメント技術の継承・発展のための実践的研究」

Technology for future

世界の人々に、私たちができること

教員

| | | | |
|-------|-------|------|-------|
| 教授 | 山田 忠史 | 特任教授 | 小林 潔司 |
| 客員教授 | 藤木 修 | 特命教授 | 西田 純二 |
| 特定准教授 | 濱津 陽一 | 特命講師 | 渡辺 肇 |

研究活動

本講座では、アジア諸国を中心に需要が高まっているメガ・インフラに焦点をあて、具体的なビジネス機会の創出、プロジェクト・ビジネスモデル形成の方法論も含めた実践的な調査・研究を中心に活動していきます。具体的には、アジア諸国の協力大学・機関と連携をとりながら、各国におけるメガ・インフラの設計に関わる関連諸制度、日本企業による市場参入の可能性に関する実態調査を行うとともに、日本企業による現地法人設立とその展開に関するケース研究を推進し、東南アジア諸国におけるビジネス機会の創出、プロジェクト形成の方法論に関する実践的な知見を習得し、日本国内のグローバル人材、特にエンジニアおよび技術者たちの育成を長期的に支援していく教育・研究プログラムの開発を目指します。

目的

自然災害の激化、高度情報化の急速な進展のほか、COVID-19の世界的流行など我々を取り巻く環境は刻々と変化しており、メガ・インフラやスマートシティの整備とマネジメントに本邦企業が参画することで、新しい時代の社会ニーズに応える方策が必要とされています。寄附元である八千代エンジニアリング株式会社は、「この世界に、新しい解を (Innovative Solutions for the Society)」をビジョンとして、信頼と実績、そして確かな技術と柔軟な発想で、国内外のインフラ整備に貢献してきました。これは誰1人取り残されない社会を目指すSDGsの考え方にも合致しており、事業活動をもってSDGsの達成を推進しています。社会経済や国民生活を支えるインフラ整備について、戦略的な技術開発と実践が求められるなか、本講座は「我が国が厳しい気候風土の中で培い、日本経済や国民の暮らしを支えてきた高度なメガ・インフラの設計技術やマネジメント力をさらに発展させ、世界規模の課題解決に貢献したい」という想いから開設されました。



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



京都大学

設置期間 2019年4月1日～2023年6月30日

寄附者 八千代エンジニアリング株式会社


 八千代エンジニアリング株式会社

「我が国のインフラ設計・マネジメント技術の継承・発展のための実践的研究」

Technology for future

世界の人々に、私たちができること

教員紹介



山田忠史 教授

専門分野
ロジスティクス、交通計画

Message
世界の多様な社会問題を考慮しながら、実際の事例や計画、あるいは理論的解析を通じて、ロジスティクスおよび、インフラ交通計画のあり方について考究していきます。



小林潔司 特任教授

専門分野
計画・マネジメント論

Message
インフラシステム輸出を目的として、対象国における技術移転とカスタム化を図るための産・学・官の協同によるプラットフォーム形成とインフラ技術の現地実装化に関する実践的研究を行います。



藤木修 客員教授

専門分野
アセットマネジメント、国際標準化政策、環境衛生工学

Message
インフラシステム輸出戦略では、インフラのライフサイクル全体にわたる共創イノベーションと現地化を伴う協働化が不可欠です。大学の「知のネットワーク」資源を活かして、インフラマネジメント・ビジネスのあり方を実践的に追及しましょう。



西田純二 特命教授

専門分野
情報通信システム・IoT、事業創出、まちづくりと地域活性化、スマートシティ

Message
インフラシステムの現地実装には、情報通信技術の活用が不可欠です。調査・設計・施工・運用管理、技術移転などの多くの側面において、IoT・ICTを活用した実践的な研究を行います。



濱津 陽一 特定准教授

専門分野
国際インフラストラクチャー開発
(プロジェクトマネジメント、水資源管理分野)

Message
人口増加や地球環境問題は、新たな社会課題も浮き彫りにしています。いま求められているのは、こうした課題に向き合い主体的に新たな価値観をつくりだすことです。我が国が蓄積した技術や経験の国際的課題への適応を実践していきます。



渡辺肇 特命講師

専門分野
国際インフラストラクチャー開発
(防災・水資源管理分野)

Message
日本の技術・経験を更に発展させて国際展開するためには、現地を知り、そこに適した技術に進化させていくことが求められます。アジア諸国を中心として、膨大なインフラ開発需要を抱える国々におけるプロジェクト形成論を考え、実践していきます。